

仙台市環境行動計画

令和6年度 一般研修資料

令和7年3月 環境管理事務局
(環境企画課)



研修内容

1. 「仙台市環境行動計画」について
2. 目標達成に向けた主な取り組み等について
 - (1) 二酸化炭素排出量削減に向けた主な取り組み
 - (2) 一般廃棄物排出量削減に向けた主な取り組み
1. グリーン購入の推進について
2. 公共交通利用の推進について
3. おわりに




1. 「仙台市環境行動計画」について

「仙台市環境行動計画」とは

行政機関として、また大規模事業者の社会的責任として、
率先して環境負荷の低減を図るため、本市独自に策定した
環境マネジメントシステム

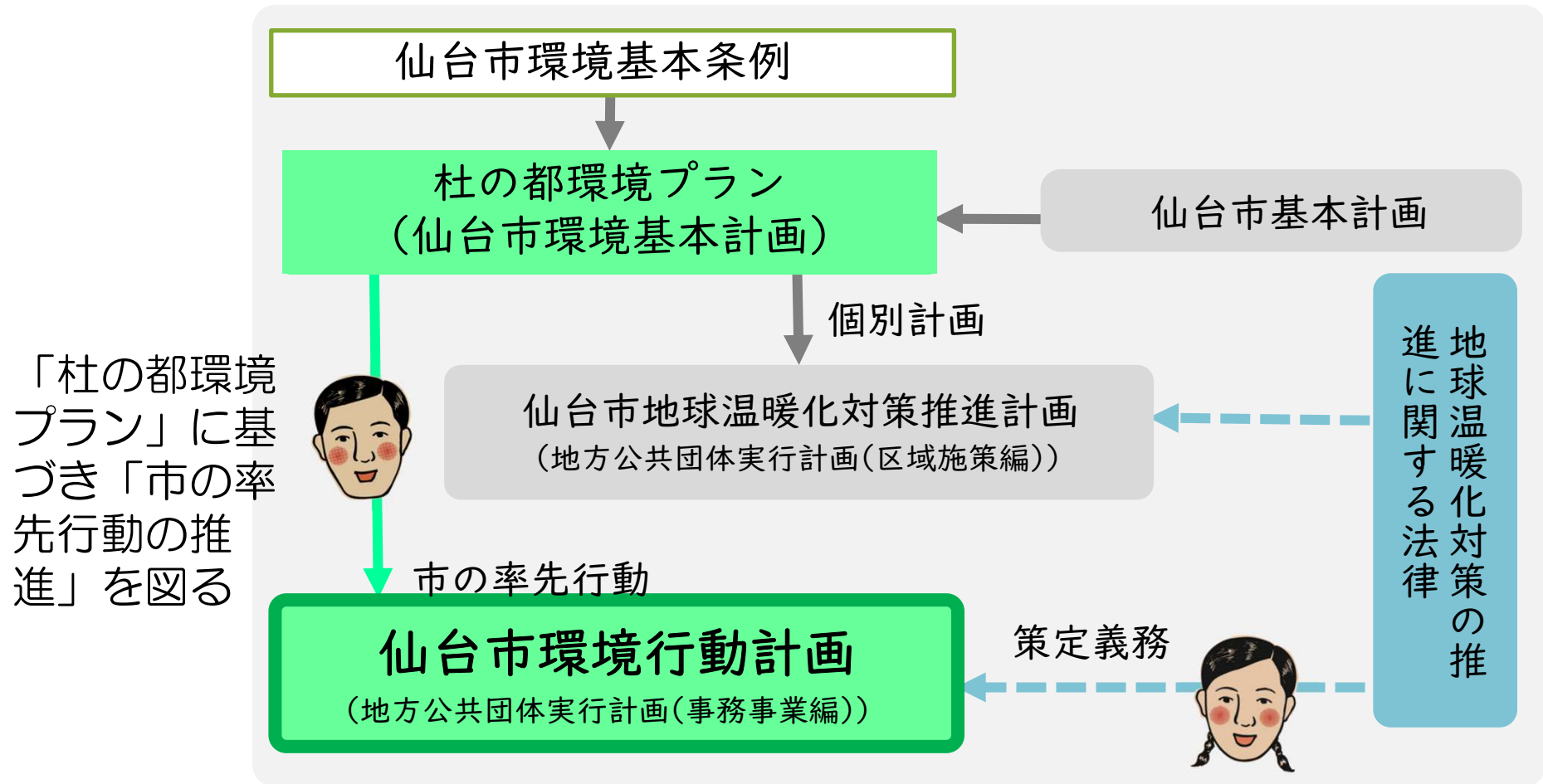
- ✓ 「杜の都環境プラン」における市の率先行動の推進を図る上で重要な計画
- ✓ PDCAサイクルにより環境負荷低減を推進

 **計画期間** 令和3年度～令和12年度（10年間）
※令和7年度中間評価

 **対象** **全ての庁舎・施設**
(指定管理者が管理運営する施設、PFI施設等を含む)

1. 「仙台市環境行動計画」について

🌿 計画の位置づけ



「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画(事務事業編)」として位置づけ

1. 「仙台市環境行動計画」について

 **目 標** 環境負荷低減を図るため、2種類の目標を設定

■全庁共通目標

- 「**二酸化炭素排出量**」及び「**一般廃棄物排出量**」

※本市が率先して取り組む姿勢を明確にするため、「杜の都環境プラン」等に掲げる市域全体の目標を上回る目標値を設定

■独自目標

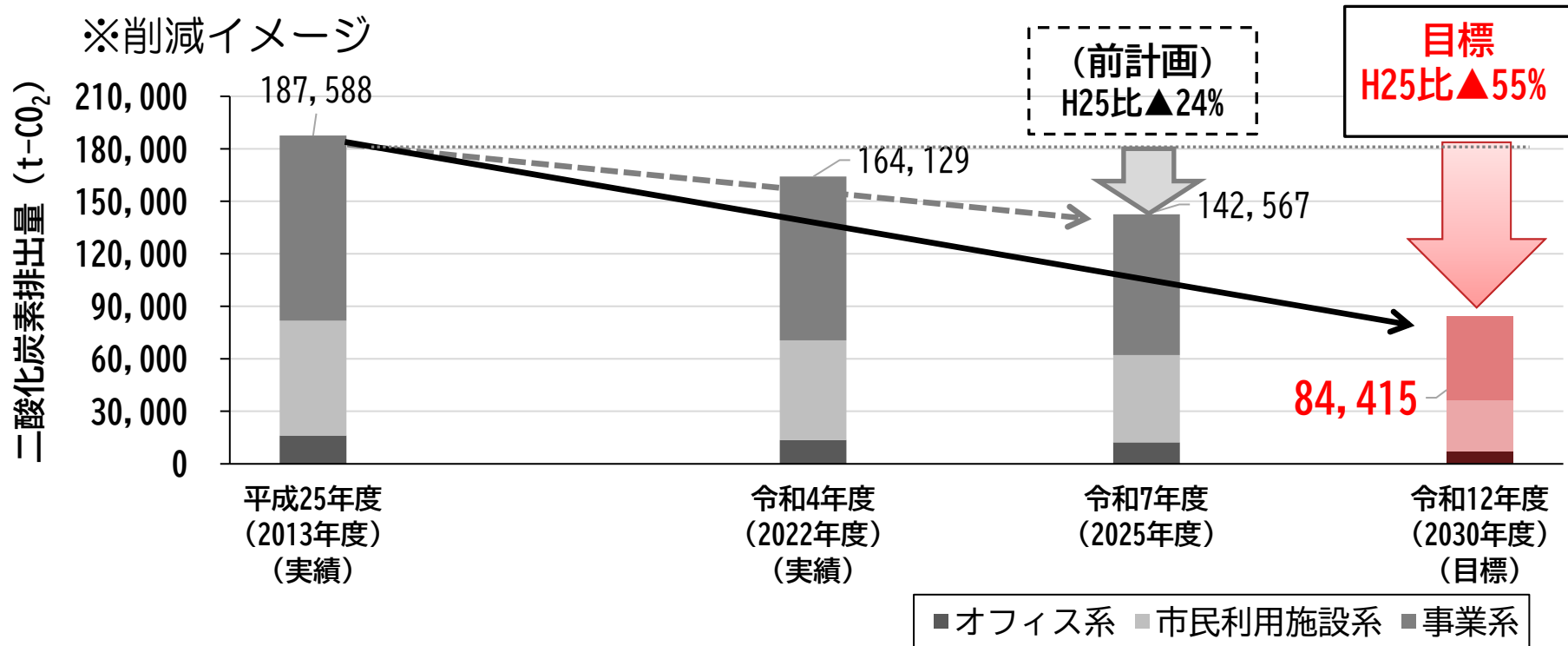
- 各部署ごとに、業務に関連した目標を設定
(例：超勤時間の縮減、公共工事における再生資材の利用、公共交通の利用促進、市民啓発講座の開催実績等)

2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

（1）二酸化炭素排出量削減に向けた主な取り組み

目標

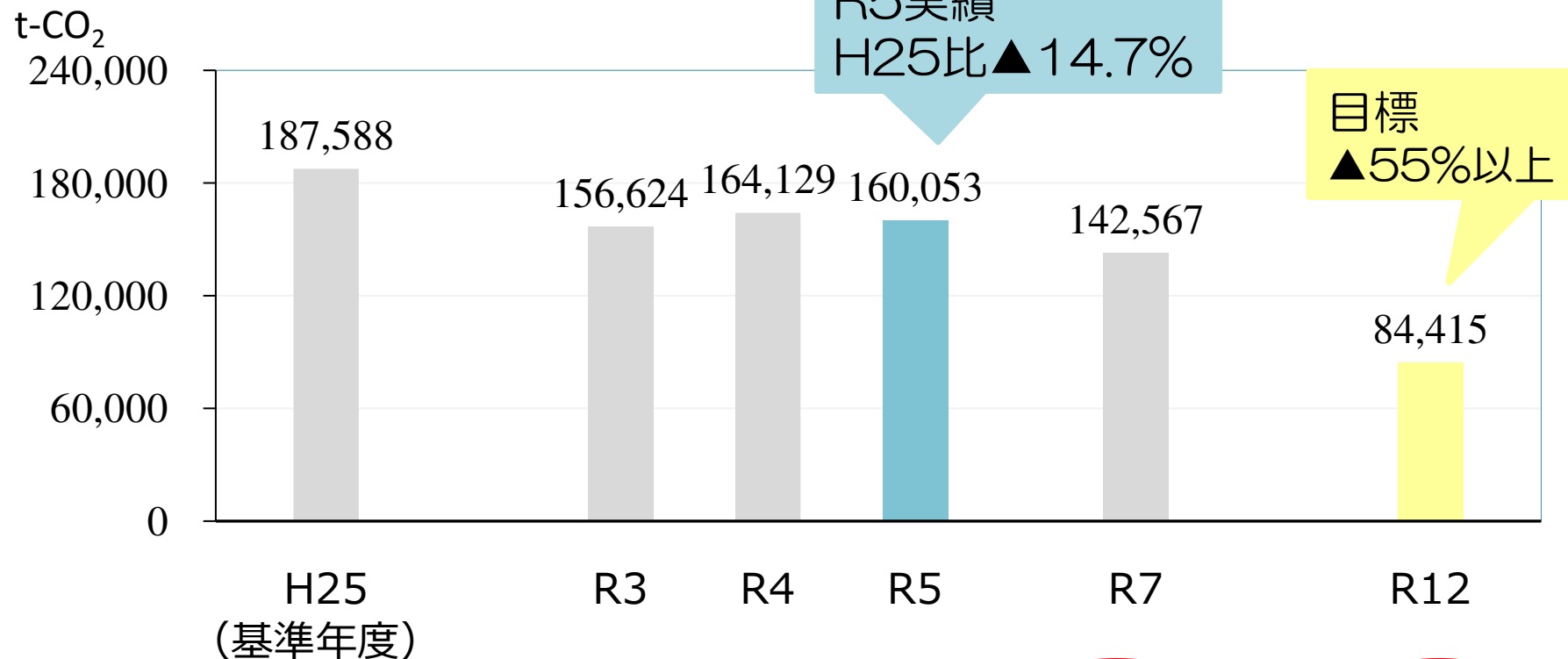
令和12年度において平成25年度比で55%以上削減



国の目標（政府実行計画では令和12年度までに50%削減）を上回る高い目標！ 5

2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

二酸化炭素排出量の状況



- 令和5年度は前年度比で減少しているが、目標達成に向けてはまだまだ二酸化炭素削減に向けた取り組みが必要である。



引き続き省エネの徹底をお願いします！



2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

🌿 二酸化炭素排出量削減に向けた主な取り組み（ハード面）

○市有建築物の脱炭素化

- 新築・改築建築物については、**ZEB※ Ready**相当以上を目指し、施設の用途や規模に応じた、より高い環境水準の建築物を検討する。

※ ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービルディング）

省エネや再エネの導入等により、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。

国は、4段階の区分を設けており、ZEB Readyは、再エネでエネルギー消費量を50%以下に削減するものと定義している。

○太陽光発電設備の導入

- **令和12年度までに**設置可能な建築物（敷地を含む）の**50%**以上に、太陽光発電設備を設置することを旨す。

指定避難所の太陽光発電パネル▶



2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

🍃 二酸化炭素排出量削減に向けた主な取り組み（ハード面）

○市有施設の照明のLED化

- 令和12年度までに市有施設のLED照明の割合**100%**を目指す。



照明のLED化
(金剛沢児童館 遊戯室)

○公用車における取り組み

- 「仙台市電動車等導入方針」(令和4年8月改定)に基づき、**電気自動車等**の積極的な導入を推進する。



公用車への電気自動車導入例

○再生可能エネルギー電力の導入

- 令和12年度までに、本市事務事業で使用する電力の**40%**を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。

2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

🍃 二酸化炭素排出量削減に向けた主な取り組み（ソフト面）

○環境行動の徹底

行動計画「別表 環境行動」重点取組を参照！

- 過度な冷暖房の抑制
- 昼休みの消灯やパソコンの省エネ設定等、**省エネ・節電行動を徹底**
- **業務の効率化・デジタル化**を推進



窓に気泡緩衝材を貼って断熱した例

○「温室効果ガス削減アクションプログラム」を通じた取り組みの推進

- 本制度への参加が義務となっている施設等においては、制度を通じて温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを効果的に推進する
- その他の施設についても、特性や用途等を考慮しながら**率先して制度に参加し、取り組みを進める**



ロゴマーク

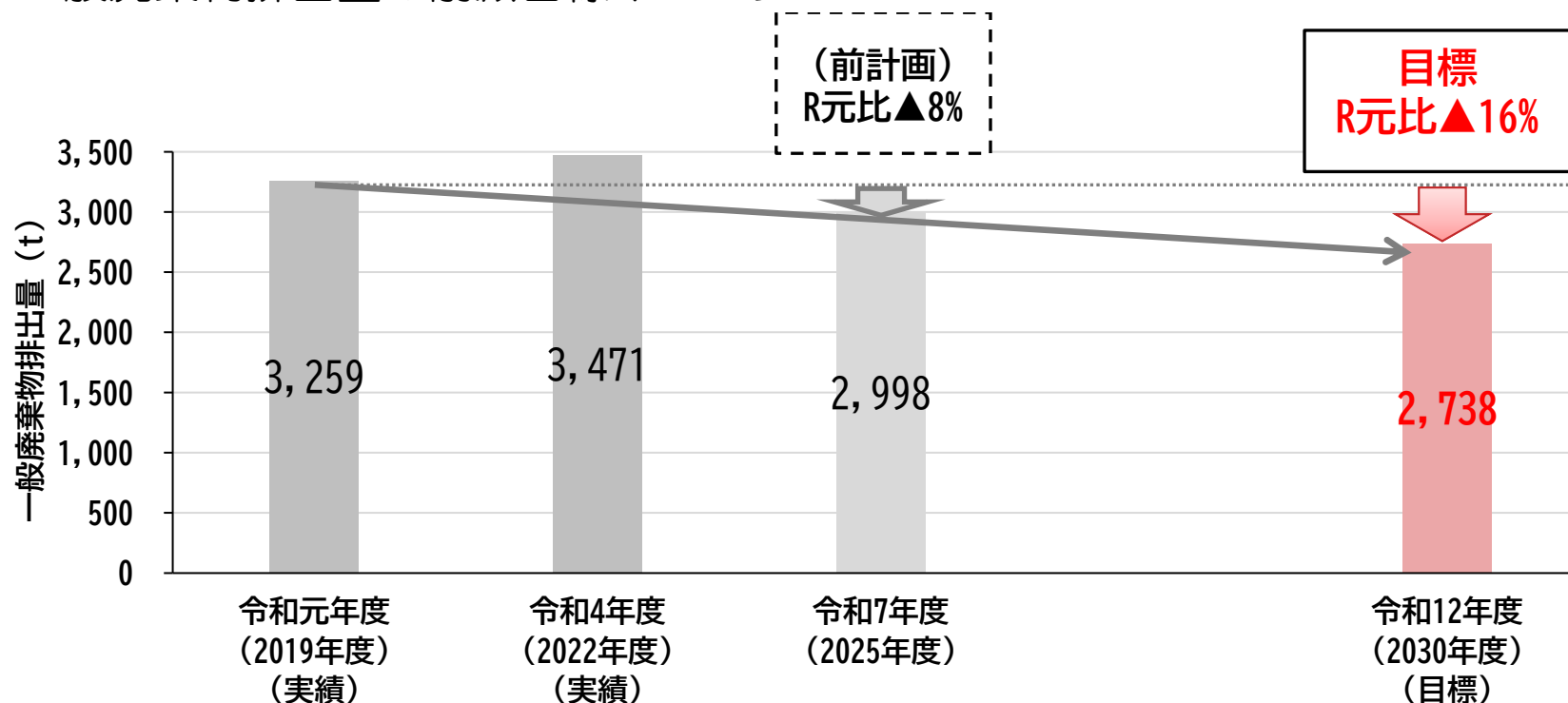
2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

② 一般廃棄物排出量削減に向けた主な取り組み

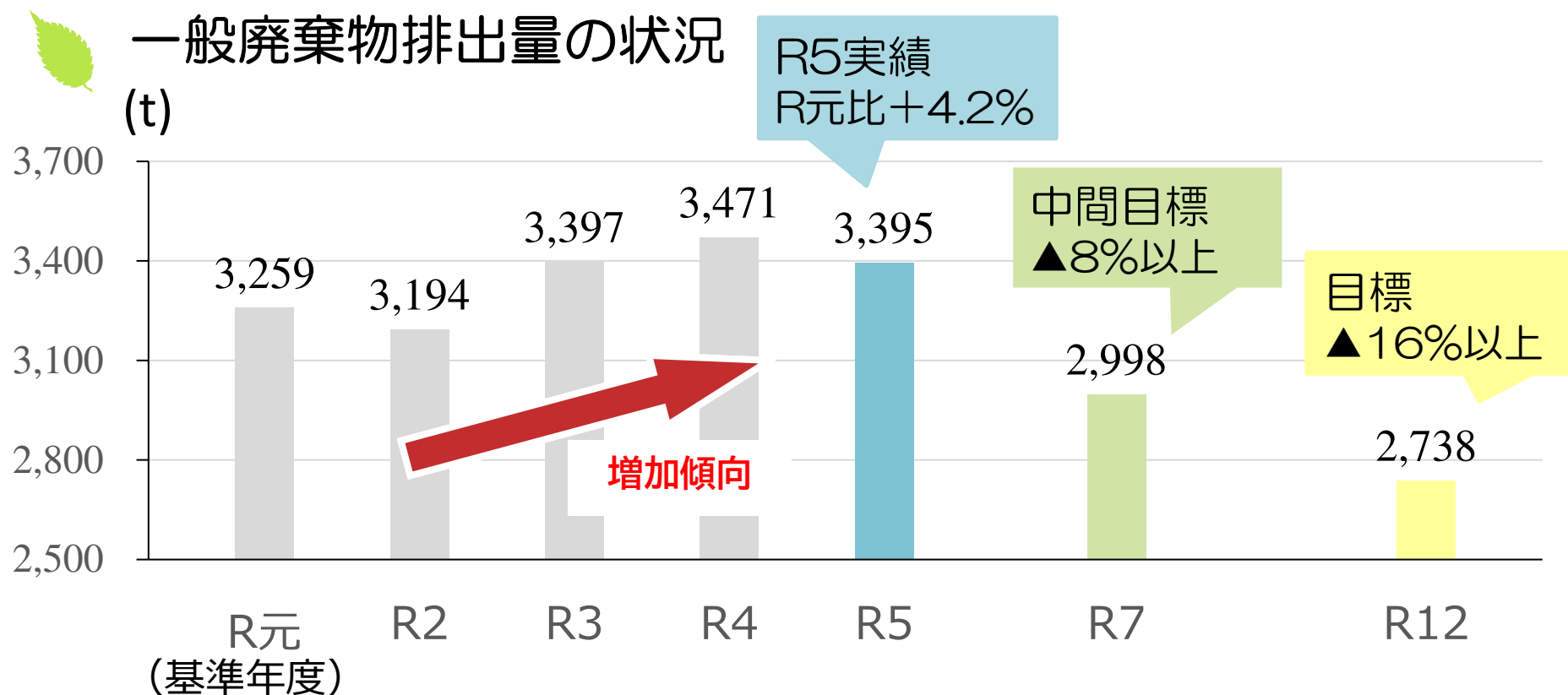
目標

令和12年度において令和元年度比で16%以上削減

※一般廃棄物排出量の削減目標イメージ



2. 目標達成に向けた主な取り組み等について



- 一般廃棄物排出量は、近年**増加傾向**にある。
- 令和12年度の目標及び令和7年度の中間評価に向け、より一層のごみの削減に向けた取り組みが必要である。

今一度、排出・分別ルールの**確認と徹底**をお願いします！



2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

一般廃棄物排出量削減に向けた主な取り組み

○ごみの減量・リサイクル推進に向けた管理強化

- 排出量が多い主要施設等については、年度ごとの実績集計に加え、**年央にも実績集計**を行い、削減に向けた効果的な対策を実施

○ごみ分別チェックシートを活用した点検

- ごみ分別チェックシートを活用し**、各フロア等におけるごみの分別状況について点検を実施
- 結果を共有し**、改善につなげる



デスクネットキャビネット
(環境局>環境企画課>ごみ分別チェックシート等) 参照

確認者		分類	チェック項目	結果	×・△の理由等
課等	氏名				
環境企画課	〇〇 〇〇 △△ △△	可燃ごみ	菓子箱や封筒、割りばしの袋などリサイクル可能な紙類が混入していないか	△	・可燃ごみに付箋(雑がみ)、ヨーグルトのプラ容器が混入していた ・弁当容器が汚れたままプラに入れられていた
			弁当ガラ・カップ類の容器・菓子袋などのプラスチック類が混入していないか	△	
			茶がらなど生ごみは水切りしているか	〇	
		プラ	汚れがひどくないか	△	
			プラスチック類以外のものが混入していないか	〇	
		缶・びん・ペットボトル	汚れがひどくないか	〇	
			キャップ、ラベルがついていないか	〇	
ペットボトルがつぶされているか	×				
割りばし	汚れがひどくないか	〇			

2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

一般廃棄物排出量削減に向けた主な取り組み ○各職場・給湯室でのごみの出し方の工夫



▲給湯室手前側にプラや缶・びん・ペットボトルのボックスを、奥に可燃ごみのコンテナを置くことで、分別をしてから可燃ごみを捨てる環境を作っている。



▲可燃ごみやプラごみ等、種類ごとに正しい捨て方等を記載し、適切に分別できるように工夫している。



▲年1回の不用品回収に出すため、容器包装以外のプラスチック・金属類も、分別している。

2. 目標達成に向けた主な取り組み等について

<不適切なごみ分別の例>



プラマークの表示があるものはプラに分別（※カップ麺の容器等はプラ製とそうでないものがあるので注意）



適切な分別方法をご確認ください！



レジ袋はプラへ分別
※マイバッグを持参や
手での持ち帰りを心がける



汚れたプラ製の弁当
容器等は軽くすすいで
プラへ分別
※油污れ等全てきれいに
落とす必要はない



現在用品会計で購入
しているコピー用紙の
包装紙は雑がみとして
リサイクル可能



付箋やメモ用紙、割り
ばしの紙袋、小さな菓
子箱の雑がみは使用済
の封筒等にまとめる

プラスチックの回収箱へ

雑がみとして古紙回収へ

3. グリーン購入の推進について

品質・価格 + 「環境」 = **グリーン購入**

- 購入の必要性を十分考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷が小さい物品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。

■対象 ※デスクネットキャビネット（環境局>環境企画課>グリーン購入関係）参照

- 対象品目は毎年見直しが図られ、令和6年度は「22分野、288品目」がグリーン購入法の「特定調達品目」に定められている。

■市の取り組み

- 本市では上記「特定調達品目」について、原則としてグリーン購入法適合商品等を調達することとしている。

※例年3月に、翌年度の対象品目等について周知

グリーン購入物品の調達が困難な場合には、
「グリーン購入を実施できない理由書」の提出が必要です。

理由書▶

年 月 日		年 月 日	
課 長	係 長	課 長	係 長
グリーン購入を実施できない理由書 (契約担当課別分 ・ 各課別別分) とは24年まで			
納期	令和 年 月 日		
品名			
調達予定物品等の品名			
仕様・規格等			
数量 (単位)			
グリーン購入できない理由	1. 希望の仕様・数量で、最新の基準を満たす物品が存在しないため。 2. 品質・性能等の問題で、使用上の支障が生じるため。 3. 使用機器等の規格により指定されており、代替品がないため。 4. 在庫品がなく、詳細に照らさないため。 5. その他		

4. 公共交通利用の推進について

公共交通のメリット

業務上の打ち合わせや会議、また業務時間外の移動において、公共交通を利用することには様々なメリットがある

例えば...

- 安全性が高い
- 環境にやさしい
- 健康に良い
- 渋滞の緩和
- 維持費がかからない
- 定時性がある 等々

check !

公共交通の利用促進については都市整備局 公共交通推進課において様々な情報を発信しています

○なぜ環境にやさしいのか

地球温暖化の原因の1つである二酸化炭素はクルマから多く排出されている

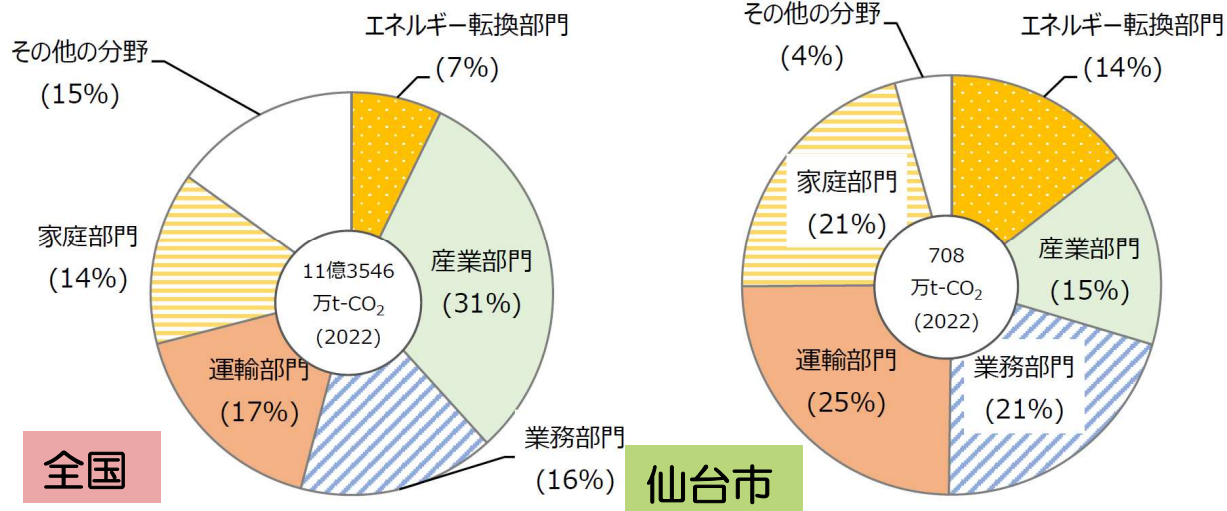
クルマの利用を減らすことが二酸化炭素の削減につながる

★クルマ移動が必要な場合は、環境負荷の少ないエコカーの利用がおすすめです★

4. 公共交通利用の推進について

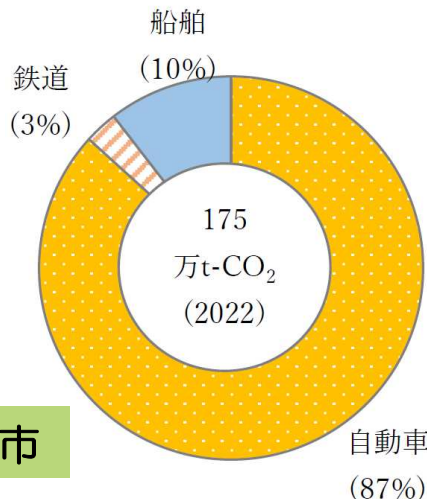
仙台区の特徴について

■温室効果ガス排出量の構成比（全国と仙台区の比較 2022 年度）

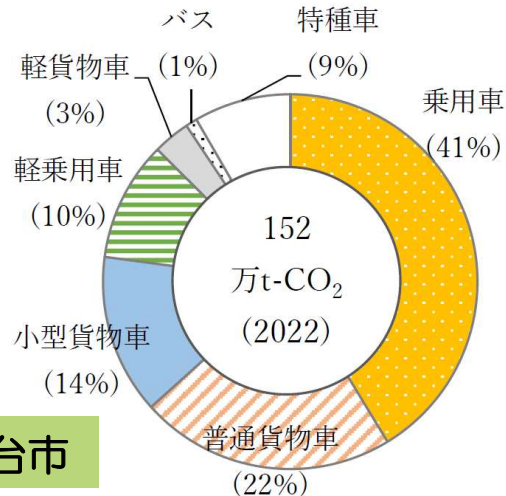


◀全体に占める運輸部門の割合が、全国は17%であるのに対し、仙台区は25%と、仙台区は全国と比較して運輸部門の割合が大きい。

■運輸部門における温室効果ガス排出量の内訳（2022 年度）



■自動車における温室効果ガス排出量の内訳（2022 年度）

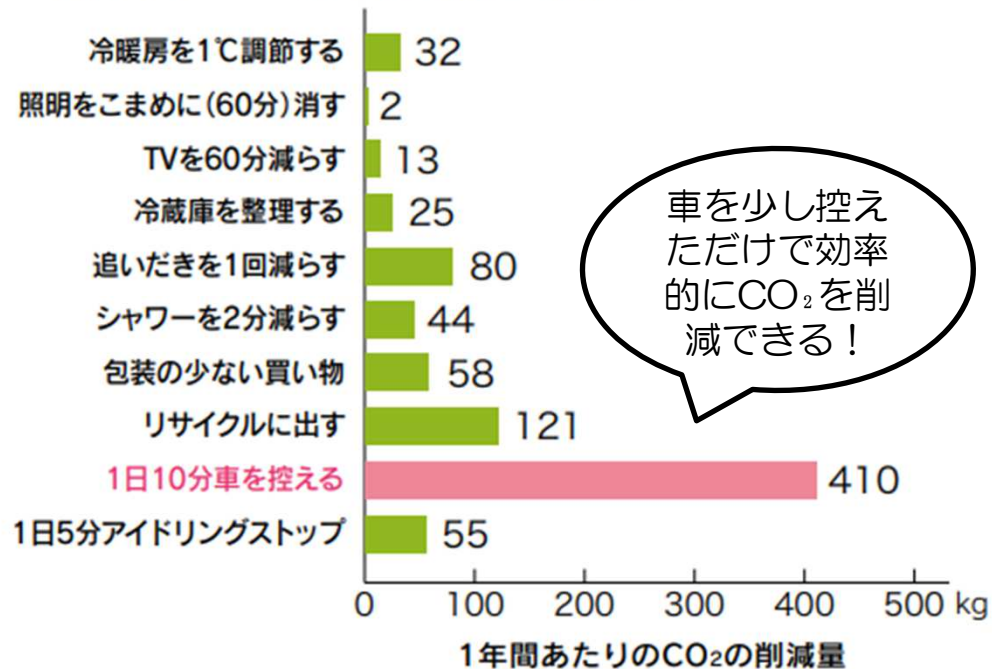


◀運輸部門のうち、自動車の割合が87%、そのうち乗用車は41%と、運輸部門の中でも乗用車（クルマ）における割合が最も大きい。

4. 公共交通の利用促進について

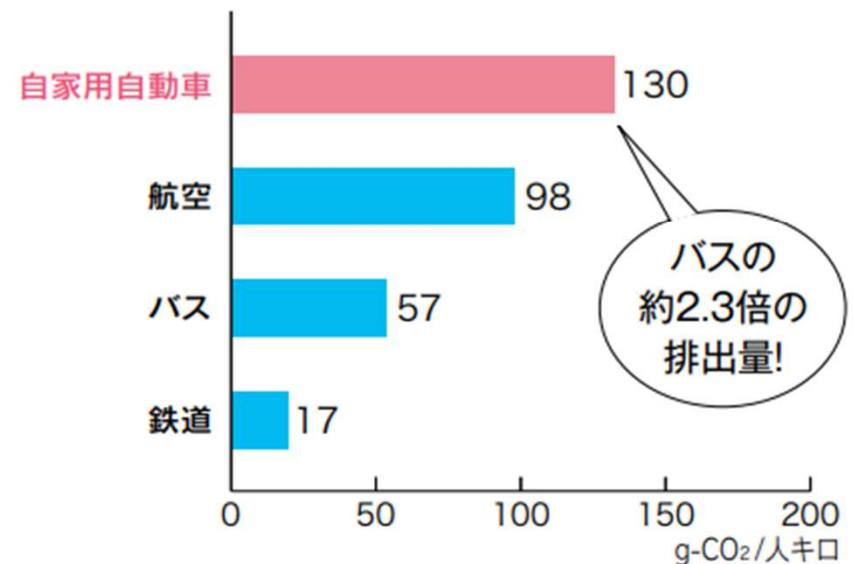
🍃 クルマの利用が環境に与える影響について

■ 1世帯が1年間で削減できるCO₂ ※1



■ 1人を1km運ぶのに排出されるCO₂ ※2

旅客輸送機関別のCO₂排出原単位



※1：日本モビリティマネジメント会議HP ※2：国土交通省HP (R3)

公共交通を上手に利用すれば効果的な温暖化対策となります!

4. 公共交通利用の推進について

🍃 せんだいスマートとは

仙台市では、鉄道やバスなどの公共交通利用者の増加を目指すため、「せんだいスマート」をキャッチフレーズに公共交通利用促進の様々なソフト施策を推進しています。



鉄道、バス、自転車、徒歩などの移動手段を上手に使い分け、賢く利用して、環境面や健康面で生活そのものをスマートなものに!!

◀ロゴマーク

バス・地下鉄の発着時刻を調べる

各事業者の時刻表

市バス・地下鉄を利用したい

マップで確認したらアクセス

宮城交通バスを利用したい

バスをスマートに使おう

「どこバス仙台」で、乗車するバスが、今どこにいるのか簡単に分かります

市バスの接近情報

バス接近情報「どこバス仙台」

宮城交通バスの接近情報

統合バスマップで、バス・地下鉄に乗ろう

路線を調べる
乗り方・所要時間
運賃の支払い方

ダウンロードできます!

最寄りのバス停にどんなバスが走っているかや、地下鉄とのアクセスも分かります。

市内のバス路線を詳しく知りたい

仙台駅の乗り換え案内

仙台駅の乗り継ぎガイドにおまかせ

ダウンロードできます!

乗り継ぎルートは動画でもご案内しています!

新幹線中央口改札

地下鉄 仙台駅

西口バスのりば
都心循環バス
60番バスのりば

●他の乗り継ぎルートも、追加していく予定です。

分かり易い!

車の困りごとや、バス・地下鉄の乗り方、icscaの使い方等を動画で確認できます。

せんだいtubelに掲載中! 【せんだいスマート】
～数値が示す車のこまりごと～

仙台市ホームページ
「動画でみる せんだいスマート」

5. おわりに

市が率先して環境負荷低減を図るため、
各職場のみならず普段の生活から、環境
に配慮した積極的な取り組みをお願いい
たします！



ご不明な点は事務局（環境局環境企画課）まで

【問い合わせ先】

担当：企画調整係 武藤

（内線）736-3364 （外線）214-8218